

小地域福祉活動の推進に向けて

～暮らしのセーフティネットとしてのつながりと
支えあいをめざして～



社会福祉法人 天理市社会福祉協議会

はじめに

近年、天理市においても急速に少子高齢化、核家族化が進み、単身世帯も増加しています。多くの地域でつながりが希薄化し、その結果、私たちの暮らしの中でも様々な困りごとが発生しています。「住みなれた地域で自分らしく暮らし続ける」ために、私たちは「地域のつながり」をもう一度見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。

高齢者や障害者、子どもたちなど、何らかの助けを必要とする人たちが、安心して暮らせる町づくりを進める取り組みとして、今、「小地域福祉活動」が全国的に注目されています。

天理市社会福祉協議会では、この活動を通し、天理市の理念でもある「人と人とのむすびつきを大切にし、みんなで作る活力あるまち」の実現をめざして、住民の皆さまと共に進めていきたいと考えています。



目 次	
1、小地域福祉活動について	P1～
・小地域福祉活動ってなに？	
・活動のメリット・意義は？	
・活動内容	
2、サロンについて	P4～
・サロンってどんなもの？	
・サロンの効果	
・立ち上げるためには	
3、天理市社会福祉協議会とは	P8

セーフティネットとしての小地域福祉活動

少子高齢化や世帯の単身化により社会全体の孤立化や無縁化が広がる中で、「暮らしのセーフティネット」としての「地域のつながりづくり」は、一人ひとりの住民にとっても行政にとっても重要な課題になっています。

身近な地域で住民が支え合う「小地域福祉活動」は、地域のつながりを強めていく上で、とても有効な取り組みです。小地域福祉活動の推進は、街づくりの基盤にもつながります。



小地域福祉活動とは??

住民同士の支え合い活動です。

小地域という身近な範囲で「気になる人（こと）や不安な人（こと）」に気づきあったり助け合ったり、そうした情報を共有したり、専門機関につなげたりできる力を高める仕組み作りです。

- ①小地域とは?・・・集まりやすい、歩いて行けるような身近な範囲です。
- ②小地域の特徴は?・・・お互いの顔がみえる、目配りがしやすい、活動の基礎がある。

活動の基礎とは・・・核となる人（自治会役員、長寿会、婦人会、こども会
民生委員・児童委員など）
場所（公民館、集会所、神社、お寺、空き家店舗等）
組織（班、自治会、自主防災組織等）



※セーフティネット・・・「安全網」「安全策」⇒要援護者を早期に発見し、適切な支援が行われるしくみ。



小地域福祉活動の意義・メリットは？



- ①つながりが生まれます・・・住民同士のつながりがある地域はより親密に、つながりが少ない地域は交流を通じてつながりが生まれ、地域で助け合う仕組みの基礎ができます。
- ②気づきあい生まれます・・・困っている人に気づく人が増えます。気づくことにより早い解決への道筋ができます。
- ③情報のアンテナが広がります・・・地域の困りごとを解決するための情報をみんなまで共有できます。
- ④つなぐ力が養われます・・・困っている人を適時に福祉サービスなどの専門機関へつなぐことができます。



どんな活動がありますか？

- ①見守り活動・・・生活に不安を抱えている世帯（高齢者や障害者、乳幼児のいる世帯等）を地域で見守る活動です。（福祉マップの作成、あいさつ、声掛け運動等。）
- ②人間関係づくり活動・・・ふれあいや交流を通して、住民同士の関係づくりができる活動です。（ふれあいサロンや子育てサロン、夏祭り等。）
- ③生活支援活動・・・公的サービス（介護保険や自立支援等）では出来ない日常的な困りごとを住民同士で助け合う活動です。（ゴミ出しのお手伝い、庭木剪定、電球の取替え等）



立ち上げるためには？

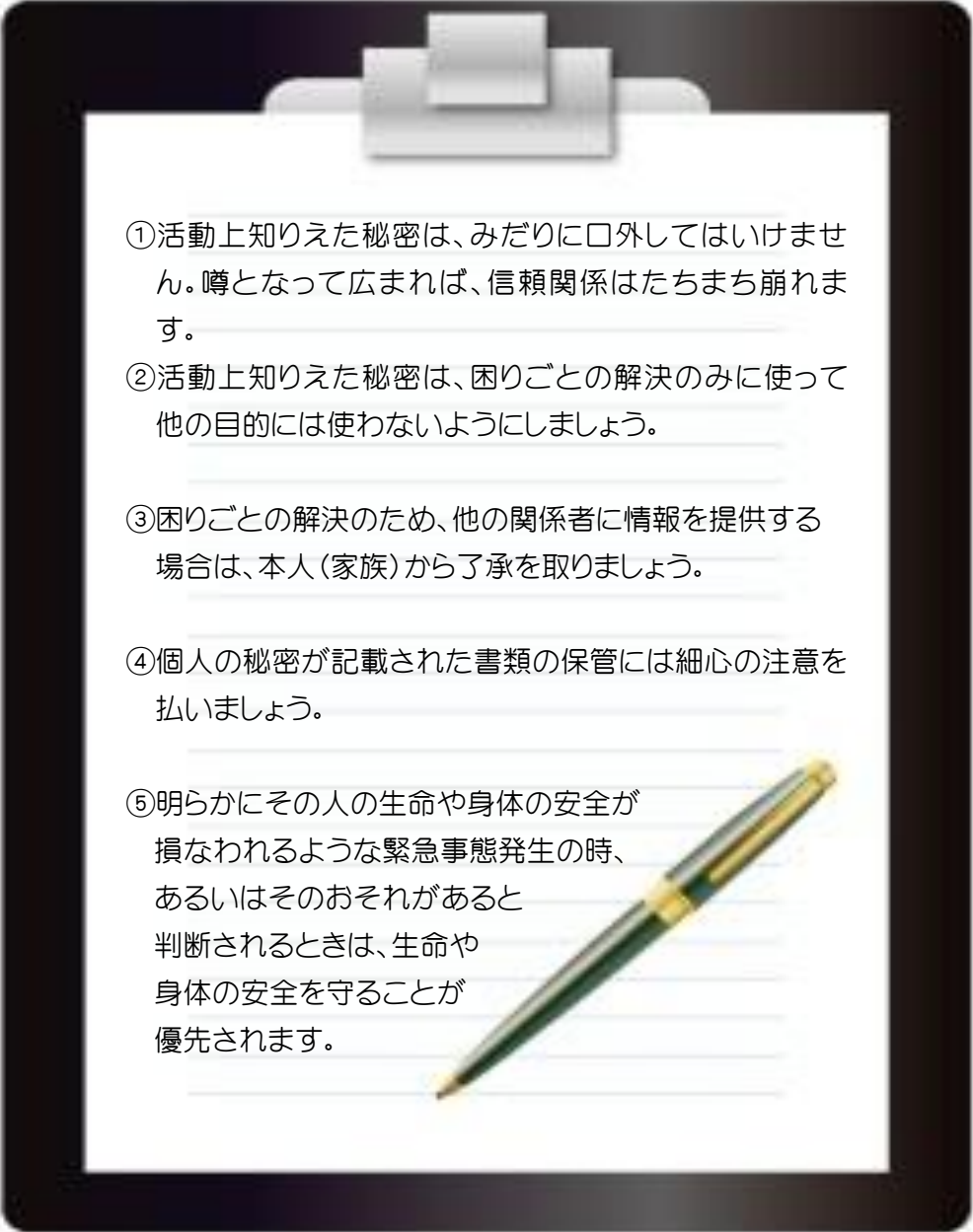
- ①地域を知り実情を把握しましょう。
 - ②活動の拠点、核となる人をつくりましょう。
 - ③どんな活動がいいか、どのように活動するのかなど話しあいましょう。
 - ④実際に活動してみましょう。
 - ⑤課題は解決できたか、他に課題はないかなど話し合いましょう。
- ⇒振り返ることにより、より効果的な活動が生まれます。





プライバシーを守りましょう。

誰にも他人に知られたくない秘密があります。小地域福祉活動に必要な個人情報を根ほり葉ほり聞き出す事は避け、必要最小限のことに留めましょう。

- 
- ①活動上知りえた秘密は、みだりに口外してはいけません。噂となって広まれば、信頼関係はたちまち崩れます。
 - ②活動上知りえた秘密は、困りごとの解決のみに使って他の目的には使わないようにしましょう。
 - ③困りごとの解決のため、他の関係者に情報を提供する場合は、本人(家族)から了承を取りましょう。
 - ④個人の秘密が記載された書類の保管には細心の注意を払きましょう。
 - ⑤明らかにその人の生命や身体の安全が損なわれるような緊急事態発生の時、あるいはそのおそれがあると判断されるときは、生命や身体の安全を守ることが優先されます。

サロンについて



サロンってどんなもの？

小地域福祉活動の一つの手段がサロンです。自宅から歩いて行く事ができる身近な場所で、その地域の人が集い一緒に楽しみながら、地域としてのつながりを作っていくきっかけがサロンです。その形態は様々で、高齢者サロン、子育てサロン、障害者サロン、参加者を限定せずに地域の人誰でも集えるサロンなど、地域の特色に合わせて自由に展開できます。ただし、気の合う人たちだけで行う活動ではなく、誰でも参加でき、地域の人たちに親しまれる場であることが大切です。

①代表的なプログラム

- お茶とおしゃべり・・・サロンの基本。比較的気軽に始められます。
- 健康維持・・・・・・・・健康チェックや健康体操等で参加者の生活の質の向上に役立ちます。
- 学習の場・・・・・・・・振り込め詐欺や悪質商法等の講習会や、高齢者福祉、障害者福祉等の勉強会があります。
- 趣味の活動・・・・・・・・趣味を通じてつながりやコミュニケーションが生まれます。
- 伝統技術や芸能の継承・祭事や伝統工芸などを引き継ぐ場として。コミュニケーションをはかる手立てとして。

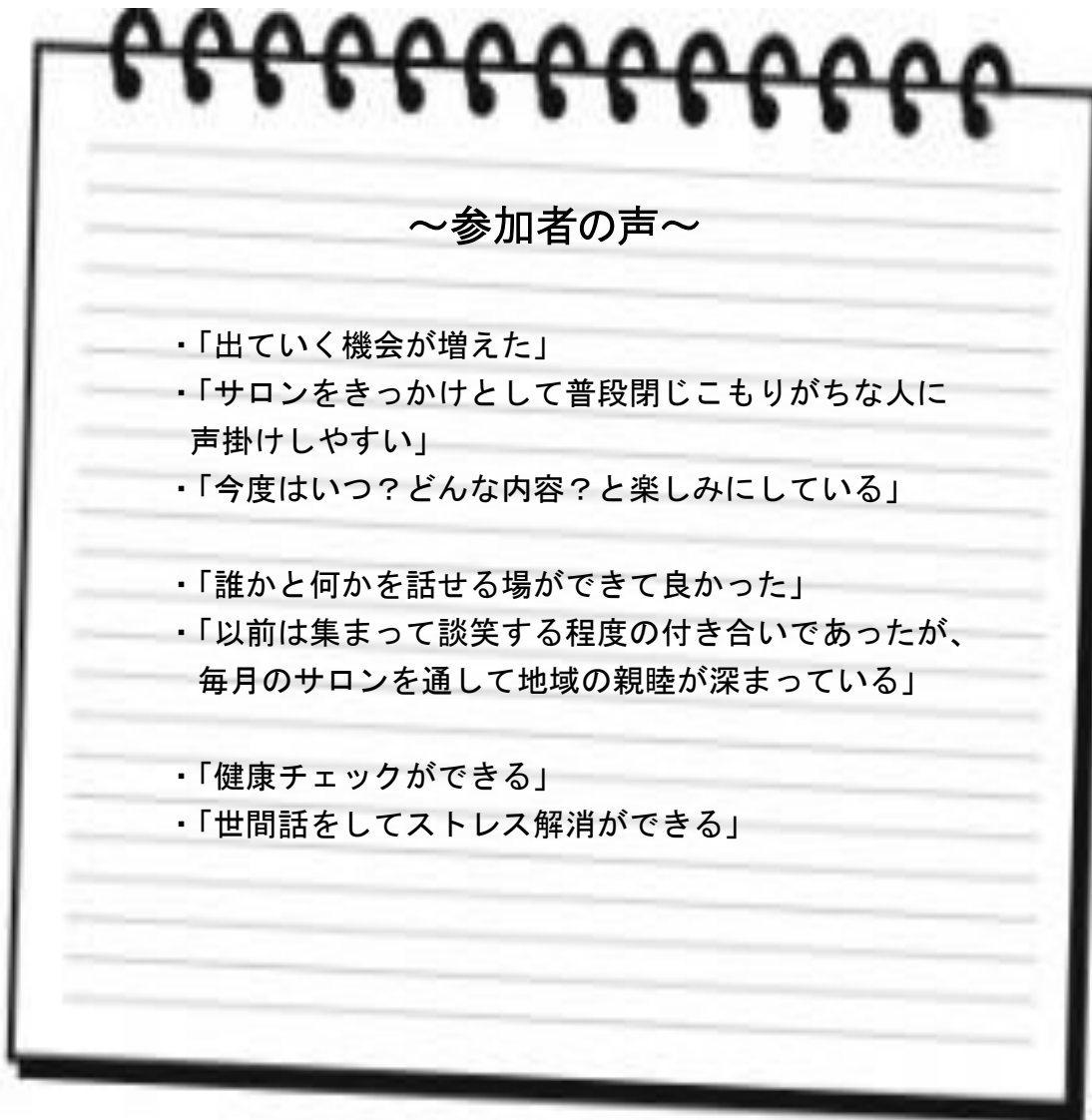
②サロンの内容を決める要素

- 参加者・・・高齢者、障害者、子育て家庭、地域住民全般
- 拠点・・・自宅、集会所、公民館、空き店舗、遊休施設、お寺、神社など
- 頻度・・・毎日、週〇回、月〇回
- プログラム・上記①や季節のイベントなど



サロンの効果

- ①外出のきっかけとなり心にハリが持てます。
 - ②地域のつながりが今よりもっと親密に。新たなつながりができます。
 - ③楽しみながら健康を維持できます。
 - ④自然な見守り体制ができます。
- いつも来る人が来ないと「何かあったのかな？」と様子を見に行ったりして自然な見守り体制が出来てきます。また、おしゃべりの中からお互いの不安なことに気づきあえます。





サロンを立ち上げるには？



- ①まずはお茶でも飲みながらおしゃべりしましょう。
- ②そこで仲間づくりを始め、活動の中心となってもらえる人を募り、仲間の輪を広げていきましょう。
- ③仲間と、どんなサロンにするのか、役割分担など具体的な事を決めましょう。
- ④活動場所を決めましょう。
 - ・・・みんなが集まりやすい場所を確保。公民館、集会所など。
- ⑤財源を確保しましょう。
 - ・・・会費制、自治会から支援していただく、廃品回収で運営費を作るなど。
- ⑥地域にサロンが出来る事を広めましょう。
 - ・・・回覧板やチラシを使って参加を呼びかけるなど。

継続するために

サロン終了後、振り返りの時間を持つことも大切です。そこでの気づきが地域の福祉力をつける源ともなります。



みんなで支え合って



住みよい街に

天理市内のサロンを紹介します！！（ひばり会）



どんな地域？

40年前に造成された住宅地。約200世帯。当時中心だった30代世帯が時を経て高齢化。

平成18年、社協の協力のもとサロンを発足。以後、月1回地域の集会所でサロンを行っています。

サロンの様子は？

毎月20名程が参加しています。受付や会場設営、お茶出し、参加者のお手伝い、司会進行などそれぞれが得意なことで役割分担を行い、運営しています。健康体操や作品作り、お楽しみ会などプログラムも多彩で参加者が笑顔で楽しみながら行っています。

運営にかかる資金は？

長寿会の会費や自治会からの援助も頂いていますが、廃品回収や青空市場などを行い、主な資金を作っています。

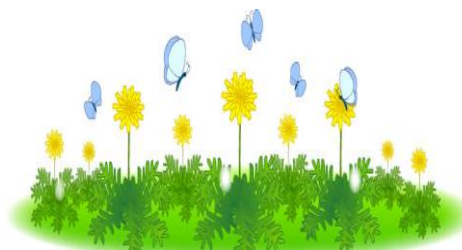
参加者の声

「楽しい」「楽しみにしている」「今まで以上につながりが持てた」

★もともと結束力の強い地域ですが、サロンを通じてよりつながりが出来ます。サロンの運営スタッフとして携わりながら、地域で困っている人にきづく力を自然と育てています。

今後は

家具の配置換え、蛍光灯取替え、草むしりなど自分だけでは難しいという困りごとに地域としてお手伝いできる仕組みを考えています。





天理市社会福祉協議会とは？

(1) 社会福祉協議会（社協：しゃきょう）とは・・・

身近なところで支え合う気持ちをお手伝いします。

社協とは地域福祉の専門家です。みなさんと一緒に、地域を良くする仕組み作りを行います。皆さんが地域のことを考えやすい環境を作ったり、地域の困りごとに気づく人を一緒に育てたり、地域で解決できないことを専門職につなげる道筋を作ったりと地域づくりのパートナーとして皆さんを支えます。

(2) 天理社協の目指すもの

地域が抱えている様々な福祉問題（地域の不安なこと、困りごと）をその人だけの問題ではなく、地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決できる仕組みを地域の皆さんと作っていきます。そうした活動を通じて誰もが安心して暮らせる心ふれあう街づくりを目指していきます。

(3) 天理社協の主な事業

- ①地域への支援・・・ふれあいサロン、ふれあい教室、共同募金、福祉団体支援
- ②暮らしを支える支援・・・心配事相談、地域福祉サービス利用援助事業、福祉資金貸付、車椅子、福祉車両貸出
- ★そこで解決できない問題は地域全体の問題として①へ
- ③その他・・・福祉センター、障害者ふれあいセンター、地域活動支援センターの運営管理

